



# 藤枝伸介

## JVC LessonMaster

### 演奏している時と、録ったものを聴いた時の 感覚の違いを近づけていくことが大事なんです

軽くコンパクトなボディに、チューナー、メトロノーム、スピードコントロールなどの数々の機能が詰め込まれたポータブルレコーダー。それがJVCレッスンマスターだ。なにより特筆すべきは、その使いやすさにある。多くのお役立ち機能を、大きな画面とボタン配置で誰でも直感的に操作できる。そんなサクソ奏者必携のアイテムを、多方面で活躍するサクソプレイヤー、藤枝伸介氏に使用してもらった。

#### Interview with Sinsuke Fujieda

##### これがあれば一つで済む

——第一印象はいかがでしたか。

藤枝 まずコンパクトで持ち運びに便利だと感じました。非常に軽いですね。

普段チューナーは別で持ち歩いているし、メトロノームは携帯電話に入っているアプリを使っています。でも、これがあれば一つで済みますね。

純粋にレコーダーとしても十分使えます。この小ささなのに音が良いので、リハーサルなどを録音する時に持っていれば役に立ちます。

##### ——他にも多くの機能が搭載されていますよね。

藤枝 スピードコントロール機能はとても便利だと思います。フレーズを研究したり、耳コピする時など重宝しますね。メトロノームの音量も十分です。大きな音が出るメトロノームがあまりなかったもので、これだけ音量が出せれば埋もれることもなくいいですね。

ライン入力とミニジャックが付いているのも、使い道が広がります。

##### 自分自身の音を知る

——藤枝さんは講師もされていますが、レッスンで役立つと思う機能はありますか。

藤枝 もちろんチューナーとメトロノームは使いますよね。あとスピードコントロール機能。自分

がこういうふうに吹きたいと思うものを、この機能を使って細かく分析することができます。

そういった機能は普段の練習でもレッスンでも役立つと思いますが、レコーダーとしても活用すべきです。僕がレッスンの時によく言うのが、自分の演奏を録音したほうが良いということ。練習の時はもちろん、セッションや発表会などでも、自分自身の音を録音して聴くべきだと思うんです。聴いた分だけ上達するはずですよ。

ですからこのレッスンマスターを使って、実際に録ったものをその場で聴くのもいいですね。自分の音を聴きたがらない人や、録って聴いたことがないという人も多そうですね。そんな人たちにとってレッスンマスターは、自分の音がどのように聞こえるのか、気軽に体験してもらえ良いきっかけになるんじゃないでしょうか。

##### ——普段レコーダーを持ち歩いて練習する人も少ないと思います。

藤枝 そうですね。そんな人にこそ活用してほしいです。

僕は自分の経験から、どんな時も演奏したものを録って冷静に聴くということをしないと、なかなか良くなっていかないと考えています。

演奏している時の感じと、録ったものを客観的に聴いてみた時の感覚の違いを近づけていく。

これが練習する上でとても大事なことです。そういう練習の仕方を、レッスンマスターを使いおすすめてきたいですね。

##### 音楽全体で捉えてほしい

——藤枝さんのレッスンで、生徒に音源を渡してそれに自らの演奏を録音していただくという練習を行なっているとのことでした。

藤枝 僕のやっているクラブジャズコースでは、サクソの上達だけというより、音楽全体を捉えられるようになってほしいんです。僕がこれまでに演奏してきた曲のトラックなどに生徒さん自身のサクソスをのせてみて、その世界観をどう表現するのかということをレッスンでやったことがあります。ただ生徒さんにやっていると、やはりそれにはマイクがあって、パソコンがあってという環境が必要なんですよ。これがなかなか大変だったりする。レッスンマスターがあれば、これ一つでどこでも手軽に実現できるというのは魅力的ですね。重ね録音機能<sup>(※)</sup>を使い、レッスンマスターにトラックを入れて、実際に重ねて吹いてみる。それを聴いてブラッシュアップする、つまりより良いものにしていくことが手軽にできます。そういった意味では、レッスンでも大いに使えると思うし、生徒さん自身にとっても色々な使い道が考えられるものではないでしょうか。

※重ね録音機能はXA-LM3、RD-R2に搭載



## サクソ練習に必要なものは、これ1台だけで十分。

### レッスンマスターを知る



#### 軽い、ちょうどいい

約100gのコンパクトサイズ

LM1が94g、LM3が101g(電池含まず)。持った瞬間にその軽さに驚くはずだ。ちなみに筆者の携帯電話(スマートフォン)は140g。

#### 誰でもすぐに、簡単に

圧倒的な使い勝手の良さ

大きな画面、独立したボタン配置、すべて日本語表記によるわかりやすさ。機械が苦手な人でも難なく使えるよう、考え抜かれ設計されている。

#### 音が良い

高音質録音、クリアな音を体感

CDを超える高音質フォーマット「リニアPCM録音」に対応。録ってすぐに再生できるスピーカーも搭載。

#### XA-LM3

シンプル操作が魅力のXA-LM1に、重ね録音、曲の好きなパートを消して練習できるパートキャンセル、自由にキーを変更できるキーコントロールといった充実の機能が追加されたグレードアップモデル。

[XA-LM3仕様] ●記録メディア:マイクロSDカード ●録音フォーマット:リニアPCM(48kHz/16bit、48kHz/24bit)、MP3(44.1kHz/128kbps、44.1kHz/192kbps) / 高感度ステレオコンデンサーマイク内蔵(\*重ね録音のフォーマットはWAVのみ) ●出力端子:ヘッドホン(ステレオミニジャック)×1 ●再生フォーマット:MP3、WMA(\*WMA-DRM1は非対応)、WAV(リニアPCM) ●入力端子:ライン入力/外部マイク入力(ステレオミニジャック)×1、コンタクトマイク/ギター(外部)入力(モノラル標準ジャック)×1 ●サウンドモード:はっきりヘッドホン、はっきりスピーカ、5バンドマニュアルイコライザ(3パターン) ●電源:単4形電池×2本(アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池)、USB給電 ●電池持続時間(再生):約21時間 ●寸法(幅×高さ×奥行き):64.4×120×23.5 ●質量(電池含まず):101g ●付属品:microSDカード(2GB)、単4形アルカリ乾電池(2本)、ヘッドホン、USBケーブル ●対応OS:Windows Vista®、Windows® 7、Windows® XP (SP3以降)

▲ほぼ原寸大



Sinsuke Fujieda  
X  
JVC Lesson Master



#### 全てがこれひとつに

#### 練習に必要な機能がこの1台に



##### ✓チューナー

KORG製で、精度の高さが魅力。スピーカーから基準音を鳴らしたり、コンタクトマイクをつないでのチューニングも可能。



##### ✓聴き比べレッスン

模範演奏に続いて自分の演奏を録音。すぐに模範演奏と自分の演奏を交互に聴き比べることができる。

##### ✓メトロノーム

テンポを光と音でお知らせ。XA-LM3とRD-R2は4種類から音が選べる。さらに指でボタンを叩いてリズムを取り、そのテンポを自動設定できるTAP機能も搭載。



##### ✓スピードコントロール

音程を変えることなく再生速度を自由に変更できる。苦手な部分はゆっくりから練習しよう。XA-LM3、RD-R2はキーコントロール機能も搭載。



##### ✓カレンダー検索

録音した音源を、カレンダーの日付から一発検索。

##### ✓重ね録音

XA-LM3とRD-R2に搭載された機能で、録音した音源に10回まで重ねて録音ができる。別のパートや違う楽器の音を重ねるのはもちろん、パソコンから取り込んだカラオケ音源などに自分の演奏を重ねることも可能だ。

#### Lesson Master series



##### XA-LM1

大きく簡潔なボタン配置で、誰でも直感的に操作できる。メトロノーム、チューナー、スピードコントロール、聴き比べレッスンなど、練習でのお役立ち機能を多く搭載。



##### RD-R2

レッスンマスターの基本機能に加え、離れた場所からでもスタートできるカウントダウン/ハンドクラップ・スタート機能や、FMラジオも搭載。コンパクトながら迫力のスピーカー再生力を備えているので、アンサンブルでの練習にも最適。